

## 4 OJTに取り組んで

### 成 果

- 本校の課題解決のため、職員のニーズや希望を取り入れ、OJTの計画を立て、全員参加型と自由参加型に分け、計画的に実施できた。
- OJTの振り返りの方法として、これまでは学期末に「振り返りシート」を記入してもらい、その結果を全員に知らせるという方法をとってきた。  
今年度は、この方法に加え、OJT研修後に「付箋紙」に感想等を書いてもらい、掲示し読み合うことで共有することができた。短時間にでき、可視化することにより全員に伝えることができ有効な方法であることを確認できた。  
また「OJT実践シート」や「学び合いカード」など新たな方法を知ることができたので、次年度に生かしたい。
- 日常的に行われている「学年会・学年部会 OJT」での学び合い・伝え合いが日々の実践に即、役立ち、重要な時間であることが確認された。分からないことはすぐに聞き、納得して進めるとよいことが意識化された。
- 「児童も先生も楽しい学校」を合い言葉に、「仲間作り OJT」を実施してきたが、全職員で楽しく進めることができ、同僚性を高めることができたといえる。

#### 《先生方の声》

日々の先生方の会話や相談する中で学ぶことが多く充実していた。

(5年経験者)

#### 《先生方の声》

料理対決は、家庭科室の使い方を覚えるだけでなく、いろいろな学年の先生方や職員の方と仲良くなれてよかった。

### 今後に向けて

- みんな学ぼうとする意欲は高いのだが、多忙であるがゆえに、OJT研修の時間が取れないという状況にある。1学期末の「振り返りシート」の中に実施したいOJTが書かれていた。希望者少数のOJTは、まず自由参加型で計画実施し、徐々に学び合いの輪を広げていきたい。
- 調査研究委員会で、複数の振り返りの方法を教えていただいたので、次年度、効果的に取り入れていきたい。
- 研修の7つの柱の「一緒にフレ研」と「ICT関係」のOJTは、時間確保が難しく計画通りには実施できなかった。そのことにより一人一講師の実施が難しかった。みんなで教え合い、学び合うことを基本とした進め方を実践していきたい。